

記者のメモ



未来の自分へ夢つつる

○…1985年のつくば科学万博で未来の自分に宛てて書いたはがきを大切に保管している喜友名智子県議（おきなわ新風、那覇市・南部離島区）。当時8歳の少女は「おきなわの町が広がっているといいな。せまくなっているとショック！」とつぶった。あれから40年。沖縄の面積は当時より大きくなっており夢は実現した。だが、埋め立てによる拡張ではなく「もっと純粋な気持ちで書いたはず」と振り返る。今年は大阪・関西万博が開催中。40年後の自分に宛てたはがきに書く夢はいかに。